

N H K 福島放送局

(3) 期日、会場、参加者数

- ① 期日 昭和54年11月16日～18日
- ② 会場 福島県海浜青年の家
- ③ 参加者 74名

(4) 対象

市町村が開設する青年学級・青年教室生及びふるさと運動・仲間づくり事業参加者並びに青年教育行政担当者

(5) 内容

① 講演

「青春を生きるということ」

福島県立郡山北工業高等学校

野球部監督 加藤 仁一郎

② 講義

「これからの青年学級」

福島県文化センター

総務部長 丹野 清 栄

③ 研究協議

「青年学級で何をどう学ぶか」

田島町中央公民館長 室井 康 弘

西会津町公民館長 根 本 一

福島市教育委員会社会教育主事 門 間 孝 一

保原町中央公民館事業係長 松 本 洋 二

福島県教育庁社会教育課員

福島県教育庁教育事務所員

福島県海浜青年の家所員

福島県教育庁社会教育課員

福島県教育庁教育事務所員

福島県海浜青年の家所員

④ 活動事例報告

福島市飯坂青年学級

西会津町ヤングスクール

11 文部省認定社会通信教育  
研究集会

(1) 趣 旨

社会通信教育受講者や関係者が一堂に会し、学習方法や体験などを話しあい、相互に励ましあいながら、学習意欲を高めるための機会と場を提供し、本県における社会通信教育の振興をはかる。

(2) 期日、会場、参加者

① 期日 昭和53年11月12日

② 会場 県立郡山女子高等学校

③ 参加者 83名

ア 県内社会通信教育受講者及び受講希望者

イ 市町村教育委員会社会通信教育担当者

(3) 面接講座、実施団体、講師名

面接講座	実 施 団 体	講 師
保 育	日本学芸協会	橋 本 英 子
速 記	川口学園早稲田速記通信教育センター	栗 城 正 義
レタリンク	日本通信美術学園	讃 岐 純

面接講座	実 施 団 体	講 師
文化服装	文化学園文化服装学院通信教育部	石 川 富 子
きもの	大塚学院大塚末子きもの学院通信教育部	武 田 敏 子
実用英語	日本英語教育協会	山 田 庄 一
アマ無線	無線従事者教育協会	高久田 稔
孔 版	実務教育研究所	佐 藤 留 美
受講案内		社会教育課員

(4) 体験発表者

第29回文部省認定社会通信教育文部大臣受賞者

佐 藤 清

第3節 成人教育

1 概 要

社会の進展、高学歴化、余暇時間の増大等の進行に伴い、成人の学習への意欲は年々高まっている。これらの要求に対応するため、成人対象の集合学習の機会として、成人学校、学級・講座、成人大学講座の開設促進と改善・充実を図ってきた。

成人（とくに男子成人）に対する社会教育行政施策は、学級・講座、行事の主催等だけでは対応しきれないものがあるので、集合形態のほかに個人学習の促進、社会通信教育、図書館等施設利用、放送利用等の振興と拡充を図ってきた。

P T A 及び婦人団体については、P T A 指導者研修会、婦人教育指導者研修会、婦人団体指導者研修会を中核として団体の民主的運営、本来的な活動の助長につとめ、さらに、関連行政や他団体との連携により、活動の充実を図るよう指導してきた。

2 P T A 指導者研修会

(1) 趣 旨

最近の急激な社会構造の変化によって、青少年をとりまく教育環境は著しく変わってきた。これらの変化に対処して、青少年の健全育成に対する家庭教育、学校教育、社会教育の役割と相互連携のあり方があらためて問われている。このときにあたり、小・中・高等学校P T A 指導者に対し、児童・生徒の健全育成を図るため、家庭教育の充実強化、校外における生活指導、地域環境改善等について研修し、その活動を促進する。

(2) 期日、会場、参加者

(小・中学校P T A)

6月15日(前期)	南会津郡下郷町立下郷中学校	136名
7月9日(後期)		
6月23日(前期)	いわき市文化センター	110名
10月3日(後期)		
7月6・7日	石川郡石川町立石川小学校	218名
7月27・28日	河沼郡会津坂下町立坂下第二中学校	187名
8月31日・9月1日	安達郡本宮町公民館	240名